

霧が丘小中学校（小学校） 体育・健康プラン

【霧が丘小中学校（小学校） 学校教育目標】

- ◎人とのかかわり合いを大切に教育を推進し、豊かな人間性をもった児童・生徒を育てます。
- 子どもたちの興味・関心を高める授業実践に取り組み、学びの基礎・基本を身に付けるようにします。 (知)
- 仲間を大切に、礼儀正しく、最後までやり遂げる心を育てます。 (徳)
- 自他の健康に関心をもち、生命を大切に作る姿勢を育みます。 (体)
- 豊かな体験活動を通して、地域社会の一員として生きる姿勢を育てます。 (公)

霧が丘小中学校（小学校） 児童生徒の体育・健康面の姿

- ・全体的には明るく素直な児童が多い。
- ・地域は、団地と戸建てが混在しており、家庭の健康への関心はばらつきがある。
- ・新体力テストでは、ほとんどの学年・種目において全国・市の平均か、平均を下回る傾向にある。
- ・朝食を食べてくる児童は多いが、早寝早起き、歯みがきなどの基本的な生活習慣は、必ずしも定着しているわけではない。特に高学年になるに従い、夜更かし傾向が強い。

<霧が丘小中学校（小学校） 体育科・健康教育に関する指導の目標>

【体育科】

- ◎運動に対する課題をしっかりとらえ、意欲的に解決する力を育てます。 (知)
- ◎学び合いを通して、相手を認め思いやる豊かな心を育てます。 (徳)
- ◎進んで力いっぱい運動に取り組めるようにし、健康な心と体を育てます。 (体)
- ◎ルールを守って運動に取り組めるようにし、規範意識を育てます。 (公)
- ◎他の教科等の学びと関連づけながら学習できるようにします。 (開)

【健康教育】

- ◎身体認識を育てることで、健康がどのように維持されているかを知り、自ら健康行動に結びつける力を身につけます。 (知・体)
- ◎自分が認められる経験を通し、人との関わりの中で他者との違いや良さを認め合い、ともに生きる子どもを育てます。

教科

《体育科での取組》

- ・体育科では「小中連携による小中の体育の円滑な接続」を目標とし、各領域による技能の系統性の研究を行う。小中一貫の9年間で、児童・生徒が段階的に技能を習得していけるよう努める。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、栄養職員によるITを活用して、バランスのよい食事が心身の健全な発育にも大きく影響していることを体験

領域等

- ・学校保健委員会では、児童を中心に健康に関する校内の諸課題を調査し、改善に向けPTAの保健委員会も交えて話し合いを行っていく。
- ・朝の時間（隔週）を健康安全タイムとし、健康的な生活について指導する。
- ・運動委員会が縄跳び集会やマラソン週間を企画し、クラスが協力して記録を伸ばしていく喜びを感じさせたり、誰もが運動する機会を提供したりしていく。
- ・栄養職員からの給食だよりや給食委員会による「からっぽ賞」などの活動により、食育への関心を高めていく。
- ・特別活動の学級活動（2）「食に関する領域」では、栄

課外活動

《体力向上1校1実践運動》

- ◎休み時間を活用した外遊びの推進(火曜 中休み)

- ・「健康手帳」を活用して体育健康に関する情報（新体力テストデータ）を家庭と共有。
- ・体育健康に関する職員研修の充実。
- ・学校保健委員会（PTA学習会）等において、健康の保持増進に関する取組の推進。
- ・早朝サッカークラブでの活動を通して、健康な心身を育成するとともに、ルールを守るなどの運動に対する態度を養う。
- ・夏季休業中の夏季水泳教室（1～3年生）と特別水泳教室（4～6年生）では、発達段階に合わせた水泳指導を行い、体力の増進と心身の調和的な発達を図る。
- ・長期休業に際し、一人ひとりが健康観察カレンダーに取り組み、その結果をレーダーチャートなどで

【参考】 学習指導要領総則

- 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする」